

活動やイベント等の開催における 可否判断・実施時の感染防止対策チェックリスト

活動名称：	主催者：
開催日時：令和 年 月 日（ ） 時 分 ～ 時 分	
場 所：	参加人数：（計画） 人 / （実績） 人

(1)開催可否判断基準：実施に当たっては、以下の要件を満たすこと。

- 活動の開始から終了まで、参加人数を管理できる。
- 参加者が、屋内：会場収容人数の半分以上で実施できる。
十分な距離の保持等による慎重な対応ができる。
屋外：身体的距離を十分確保できる。
- 密閉・密集・密接を回避できる。
- 食事の提供を行うときは、食器等共用することがないように配慮する。

実施する場合

(2)活動やイベント等開催時の対応：開催時に、以下の対策をとること。

※子ども・保護者・参加者・スタッフ等、必要に応じて活用しましょう。

項 目	チェック
①参加者名簿の作成(全員に連絡を取れるようにする。)	
②発熱・咳・咽頭痛などの症状がある子ども等の参加を制限する。(検温・聴取り)	
③換気の徹底(冷暖房運転時にも、換気は必要。)	
④接触感染の防止 ・消毒用アルコールを備え付ける。 ・物品等を使用する場合は、複数人での共用をできるだけ回避する。共用する場合は、使用前後の手洗いを徹底する。	
⑤飛沫感染の防止 ・席などの配置は、人と人との間に十分な距離の確保に努める。 ・近距離での会話など発声時の間隔を空けるよう努める。 ・共用物(ドアノブ、手すり、スイッチ等)は定期的に消毒する。 ・屋内外において人との間隔が十分に確保できない場合、マスクを着用する。 ただし、夏場は熱中症に十分注意する。 ・会食にあたっては、大声での会話を控える、机を向かい合わせにしない等、工夫をする。	